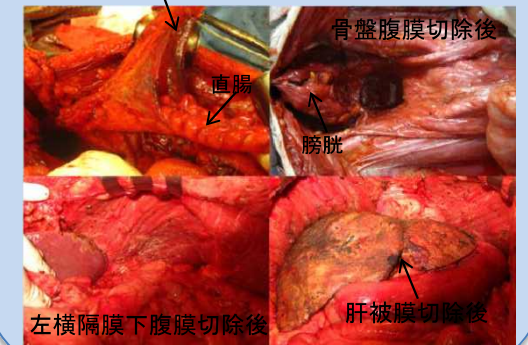
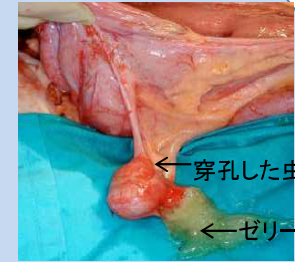


腹膜偽粘液腫の減量切除術に対する周術期腹腔内化学療法

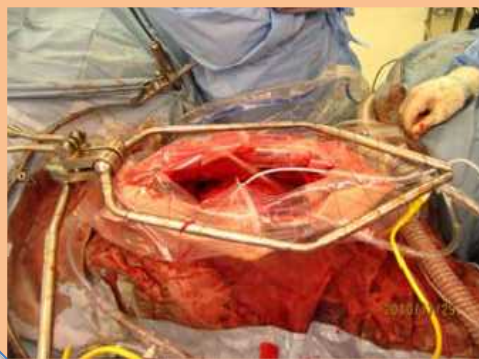
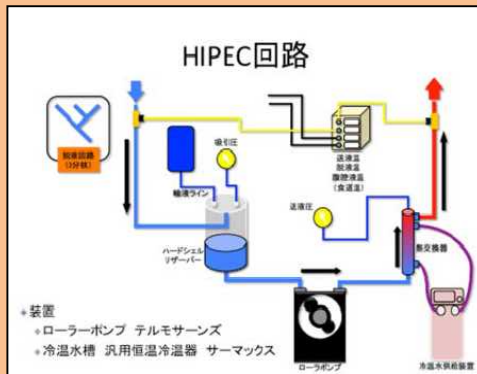


腸管(白く描出)を取り囲むようにゼリー(黒く描出)が腹腔内に充満している

減量切除術



HIPEC



減量切除(CRS) day0
肉眼的に残存腫瘍が2.5mm以下になるように減量手術を行う

術中腹腔内温熱化学療法(HIPEC) day 0
マイトマイシンC 10mg/m²/を生理食塩水 2000~3000 mLに混ぜて、42-42°C 1時間攪拌

術後早期腹腔内化学療法(EPIC) POD 1~4
5-FU 15mg/kg / 生理食塩水 1000 mLを腹腔内に投与し、24時間毎に薬剤の入れ替えを行う。これを術翌日より4日間連続で繰り返す

効果判定時期及び/または追跡期間
 主要評価項目: 5年全生存割合
 副次評価項目: 無病生存、無再発生存、全生存期間の推定
 ・追跡期間は術後5年
 ・ただし、追跡期間中に死亡が確認されない場合は本試験終了時に生存の確認を行う

EPIC

